

平成 27 年度日本語学校教育研究大会 日程

日 程 : プレセッション 平成 27 年 8 月 9 日(日)
 大 会 平成 27 年 8 月 10 日(月)、11 日(火)
 会 場 : 国立オリンピック記念青少年総合センター
 テーマ : 日本語学校 8 万人のビジョンを考えるⅢ ～新しい日本語学校教育の質のかたち～

プレセッション 8 月 9 日(日) 国際交流棟 レセプションホール

10:30～16:30	「日本語教育 e-learning 展示会」及び「日本語教育教材展示会」
-------------	--------------------------------------

大会1日目 8 月 10 日(月) カルチャー棟 小ホール

10:00～10:30	開会挨拶 一般財団法人日本語教育振興協会理事長 佐藤 次郎 文部科学省(予定) 大会趣旨説明
10:30～12:00	基調講演「インストラクショナルデザインから見た教育と学習」 向後 千春(早稲田大学人間科学学術院)

昼休憩 12:00～14:00

14:00～16:00	パネルセッション「新しい日本語学校教育の質のかたち」 1 ミニ講演「日本語学校の歩んできた道」 江副 隆秀(新宿日本語学校) 2 日本の公教育における教育の動向 3 国内外の高等教育・人材育成の動向 4 海外の日本語学習者の状況 ダビデ ロッシ(Gogonihon.com)
-------------	---

16:15～17:30	日本留学 AWARDS 表彰式
-------------	-----------------

17:45～ 交流会

カルチャー棟 2F レストランとき

2日目のみ参加の方は、101室前の受付(9:30～開始)にお越しください。
 1日目に受付がお済みの方は、直接各会場へお越しください。

大会 2 日目 8 月 11 日(火) センター棟

10:00～12:30	分科会 I 309 室 「地震発生！その時あなたは？ ～震災シミュレーションで学ぶ災害時の心得と行動手順～」 一般社団法人東京防災設備保守協会
	分科会 II 101 室 「日本語能力試験への対応と課題」 村澤 慶昭(武蔵野大学)
	分科会 III 416 室 「実践共有を通じた学びあい・その方法 3—非漢字圏学習者への取り組みをトピックに」 阿部 比呂子(東京中央日本語学院)、亀山 稔史(ABK 学館日本語学校)、竹野 藍(東京三立学院)

昼休憩 12:30～14:00

ポスター発表・デモンストレーション

センター棟 401 室

14:00～16:00	EJU「記述問題」教材づくりの実践報告 織田 とし江 他 4 人 ((学)長沼スクール東京日本語学校)
	学習者と日本人学生における交流企画～国際友活の会～実践報告 玉尾 文代 他 1 人((公財)京都日本語教育センター京都日本語学校)
	教室を飛び出して生き抜く力を学ぶ～地域との協働・プロジェクトワーク～ 村上 ひろ美(オーエルジェイランゲージアカデミー)
	性を扱った日本語授業の試み その意義と課題—LGBT を例として— 萩原 秀樹(インターカルト日本語学校)
	日本語学校におけるラボラトリー方式の体験学習の試み 高橋 直子 他1人(愛知国際学院)
	日本語学習を楽しむためのテキスト開発の試み—マンガを使った初級副教材作成— 辻 和子 他 2 人(ヒューマンアカデミー日本語学校東京校)
	場面に基づいたビジネス日本語指導 影嶋 知香子 (学)石川学園横浜デザイン学院
	AR(Augmented Reality 拡張現実)を利用した教材の開発 江副 隆秀 他 3 人(新宿日本語学校)
	直感的な電子教材の作成・使用を可能にするアプリケーション Finger Board による新たな日本語学習体験の創造 都築 鉄平 他1人(インターカルト日本語学校)

プロジェクト発表

センター棟 101室／309 室／416 室

14:00～15:25	日本語教育スタンダードを考えるプロジェクト発表
15:40～16:15	自己点検・自己評価等プロジェクト発表

自由研究発表

センター棟 101室／309 室／416 室

14:00～14:35 又は 14:50～15:25 又は 15:40～16:15 のいずれかの時間帯	物理の日本語は難しいか? ～専門教育への円滑な導入を目指して～ 喜古 正士(早稲田大学・日本学生支援機構東京日本語教育センター)
	文法運用力向上のための反転授業のデザイン 倉本 文子 他1人(カイ日本語スクール)
	アカデミックジャパニーズ習得を目指すノートテイキング授業の実践 —初級から上級にいたるまでのカリキュラムの一提案— 黒崎 亜美 他1人(ラボ日本語教育研修所)
	キャリアへの入り口 ライフサポート授業実践報告—日本語学校卒業生の「意識変化調査」(進路情報含む)を活用して —宮岡 余里子(JTC 日本語学校)
	初級クラスにおけるインターアクション授業の実践報告—振り返りを中心に 鎌田 亜紀子 他3人(友国際文化学院、早稲田大学)
	専門科目のレジュメにおける語彙・表現の分析 —予備教育における専門科目と日本語科目のアーティキュレーションを目指して— 石澤 徹(東京外国語大学)

16:15 終了

※なお、日程については当日一部変更になることがあります。御了承下さい。